

れんげまつり



大口町役場周辺

4 / 29
月

ゴールデンウィークに、大口町役場東側でれんげまつりが開催され、大勢の家族連れで賑わいました。

会場の畑は一面にれんげのかれんな花が咲き乱れ、子どもたちは元気に走り回ったり、れんげを摘み取ったりして、楽しい春を満喫しました。

今年は宝探しゲームが復活。宝探し開始の合図で一斉にレンゲ畑に飛び込む子どもたち。100個のお宝を懸命に探していました。

周辺ではまちづくり団体が、おなじみのまちづくりグルメや朝市を出店。多くの人が列を作りました。

第13回 あっぱれ桜華祭

町民会館

5 / 5
日



▲さくらメイト「さくら連」



▲あさぎ



▲志響～sikyou～

日頃お世話になっている地域の皆さんへ感謝の気持ちを含めて、大口町の鳴子踊りチーム「あさぎ」が、『あっぱれ桜華祭』を開催し、町内外で活動する9チームが、迫力のある演舞を披露しました。

後半は、結成20年を迎えた『さくらメイト』『さくら連』を祝うサプライズがあり、モニター画面に20年の歩みが映し出され、参加チームからのお祝いメッセージが送られました。

最後は、大口町にあるおちよぼ稲荷故里の宮をテーマにした新曲「大口こんこん物語」を披露しフィナーレを飾りました。





障がい者のグループホーム建設に関する陳情書を提出

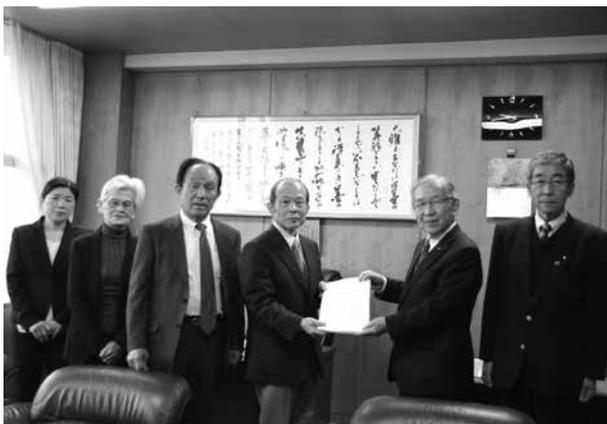
大口町役場

4 / 10
水

障がいのある人たちが暮らしているグループホームの必要性を知っていたただくことを目的に、おおぐち福祉会後援会、ハートフル大口保護者会、大口町心身障害児(者)親の会が協力し、署名活動をおこない集まった1102名の署名を町長、議長へ提出をしました。

今年度は男性が利用できるグループホームの建設が進められています。「今後は、女性用のグループホームも建設できるように署名活動を続けていきたいと思えます」とおおぐち福祉会理事長の佐野さん。「皆さんに知っていただくことが、グループホーム建設の第一歩となります。これからも皆さんにご理解いただけるようにしていきたい」とおおぐち福祉会理事の緒方さん。

署名活動はほほえみプラザ1階「喫茶ほほえみ」でおこなっています。



世界へ羽ばたけ!



兼松直生さん(秋田)が、今季のスノーボード大会の報告してくれました。結果は、日本スノーボード協会

寄附ありがとうございます



(JSBA)主催の4大会、8試合、全日本スキー連盟(SAJ)主催の5大会、6試合に出場し、13試合で入賞しました。中でもJSBAが主催する「全日本スノーボード選手権大会」ではデュアルスラローム、シャイアントスラロームの2種目で見事準優勝。今季の目標であった、SAJの強化指定選手選考基準となるポイントを獲得し、選考の結果、強化指定選手に選ばれました。来季は日の丸を背負い世界に挑戦することになります。「世界で戦えるように、フィジカルトレーニングで持久力をつけることが課題。このチャンスを生かして海外大会でも良い成績を残したいです」と兼松さん。大口町から世界へ羽ばたく兼松さんを皆さんぜひ、応援してください。

3 / 29
金

福玉精穀倉庫株式会社から「大口町社本育英事業基金」に500万円、「大口町さくら咲く基金」に500万円の寄附をいただきました。

寄附金は、奨励金、奨学金の支給等の育英事業や、郷土の誇りである桜を保存し、未来へ引き継ぐ事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

4 / 25
木